

2015年度 FD研修会

* アンケート集計結果 *

◆開催内容

日 時：2015（平成27）年6月25日（木）16:50～18:20

場 所：ユージニア館4階 E 402教室

テーマ：「アクティブラーニングによって何を指すのか」

講演者：京都大学高等教育研究開発推進センター教授 溝上 慎一 先生

コーディネータ 人間文化学部 鷲見 朗子教授

◆アンケート集計結果

参加者数 34 名

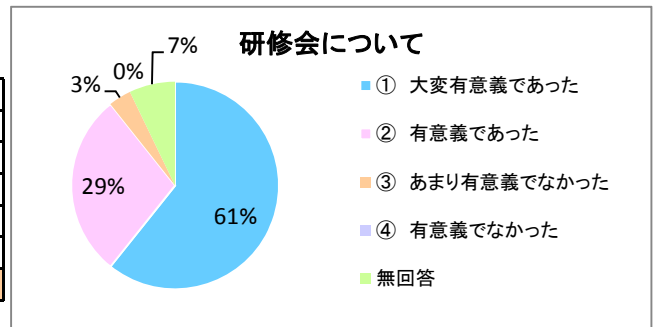
回収数 28 部（回収率82.4%）

問1 所属について

所 属	人数	割合
① 教員・英語英文学科	4	14.3%
② 教員・人間文化学科	8	28.6%
③ 教員・生活福祉文化学部	8	28.6%
④ 教員・心理学部	6	21.4%
⑤ 職員	1	3.6%
無回答	1	3.6%
合 計	28	100.0%

問2 研修会について

選択肢	人数	割合
① 大変有意義であった	17	60.7%
② 有意義であった	8	28.6%
③ あまり有意義でなかった	1	3.6%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	2	7.1%
合 計	28	100.0%



問3 今回の講演について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

1	大変実践的な内容で為になりました。大学で行っている学習や時間が無駄にならないよう、大学全体で取り組むことが大切だと感じました。「受け入れた学生をどのように育てるか」「学生を成長させる」という視点を教員・職員がしっかりと持って向き合うことも大切だと感じました。ありがとうございました。 ※カーリングのブラシ役のママは居なくなります！自らが課題解決できる人材として育ててほしいですね。	教員
2	貴重なお話、どうもありがとうございました。特に、「課題を前にした時の能力」という概念に学ぶところが大きかったです。Working Memoryのactivationを中心とした課題の出し方を工夫してみたいと思います。	教員
3	これまでのスピーカーの中で一番良かったと思います。最後の桐蔭学園の例は、教員や学生の反応よりも具体的にどのようなアクティビティをしているのかという個々のケースを具体的に知りました。	教員
4	I can't understand everything, so it's not so useful for me	教員
5	先生のお話の内容はよかったが、内容が基礎的だったので、少しものたりなかった。今度は溝上先生に、中級・上級の研修をして頂きたい。	教員
6	実践型の授業を多くの授業でしています。お話を伺って新たにやってみみたい方法が浮かびました。ありがとうございました。	教員
7	「理解を表現する」という言葉に共感できます。また今回教えていただいた授業法を是非授業中に使ってみたいです。あまり学習意欲のない学生はどのように取り込んだらよいのでしょうか。いい方法がありましたら教えて下さい。	教員

8	アクティブラーニングの話なのだが、まず先生方がアクティブにならなかったのではなかろうか。前置きが長く感じてしまった。まずは、アクティブラーニングのさわりを体験させて、ほら、こうすると話を聞くモチベーションがあがりますね、などと実証できると、先生方もアクティブラーニングをやろうという気になるのではないか。個人的には動機づけが大切だと思うわけです。デバイスも大切だが。桐蔭のビデオは面白い。生徒自身に話をさせているから、こういう生徒に育つなら入学させようかなと思うであろう。 クリッカーとか作業とかにばかり目がいくと、どういう課題を与えるか、何を考えさせるかという根本問題を見逃してしまうような気がしました。とにかく学生に何かをさせればよいというわけではないとも思いました。	教員
9	参考になるアイデアがいただきました。	教員
10	アクティブラーニングの具体的な方法を教えていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。	教員
11	非常勤先で60名程度の授業で課題としてグループワークをさせています(授業外で調べプレゼンをさせる)。このようなことが可能だろうかと初めは思っていたのですが、意外にも学生からは好評価(人前で話すのは苦手だが、よい経験になった、他のグループの発表から刺激を受けた、いろいろな視点でみることができることがわかった…など)でした。ただし毎回の講義内容に直接関連するわけではないので、これでもよいのかどうかと疑問も感じています。講義科目でもアクティブラーニング型の授業が大切であることを本日改めて学ばせて頂くことができました。今後の工夫をどのようにするかが、課題のように思っています。ありがとうございました。	教員
12	貴重なお話ありがとうございました。すぐにも、取り入れたいと思います。	教員
13	ありがとうございました。是非工夫して取り入れたいと思います。	教員
14	実演を踏まえての研修であったので、イメージしやすかった。高校生や大学生を対象に実施している様子を知ることができてよかった。自分の担当科目で、どのような課題が、学生の理解を深め、興味をもつものとなるか、考えていきたいと思った。	教員
15	アナログ人間の私にも可能だということで十分に自信とやる気が持てた。知識伝達型講義を行うことで学生がどこまで理解できていたのだろうかと考える。演習で能動的活動ができる学生はテストで必ずしも高い点数でなかったり、受動的な学生がテストで高い点数をとることもある不思議→そもそも能力？偏差値？ALの充実で能力は上がるのか。	
16	私は音楽教育が専門で学生には音楽の諸要素を習得するたびにグループで共有する形のアクティブラーニング型授業を行っています。毎回の授業で人前で弾く時間を設けています。ただ弾くだけではなく(保育士養成課程の学生が対象なので)どのような導入の上、弾いたら幼児の集中を促すことができるのかを学生とともに考える授業を目指しています。先生のご講義は、共感できることが多く、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。	教員
17	講義を脱却するというお話は心に残りました。学生が学びの主体となり、講義の中でも2割ぐらいはアクティブラーニングを取り入れていきたいと思います。また、理解したことを表現することは大変重要だと思います。思考し、自分の意見を整理して人に伝えることにより、理解が深まり、知識が自分のものとなっていくと思いました。本日は貴重な講演をしていただきましてありがとうございました。	教員
18	3月まで小学校で教員をしていました。小学校で実践してきたことを活用できることが確認できました。大学生に対しての課題の設定を自分自身の課題だと気づかされました。学生自身が学ぼうとする講義作りをしたいと思います。	教員
19	今回の講演自体がAL型で、そこにも授業改善のヒントがありました。講義の中でフィールドワークやピアインストラクションなど設定することが重要であると思いました。明日から使いたいと思います。できることから始められる点、肩の力をぬいて色々試したいです。	教員
20	自分の授業に活かそうなことがたくさん学べました。他の受講生の前で発表させられるかもしれないという緊張感も重要(しかけとして有効)のように思いました。後期の授業で早速組みこんでみたいと思います。	教員
21	「理解を表現する」の表現するが課題であると思いましたがそれまでの準備も多視点から検討する必要のあることなど具体的に理解できました。ありがとうございました。	教員

22	<p>学生が能動的学びに向かうための仕掛けの様々を教えていただき、とても参考になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人たちの学びがゴールなのではなくプロジェクトそのものを授業にしている場合、教員側の手の出し方、一方で責任のとり方(“たのしい”だけでなく評価まで最後まで見届ける)も難しいです。 ・また、“活性化”の一方で地道にコツコツとできる力につなげることも重要だと思いました。 ・どうしても対人不安の高い学生をどうするか…これが一番の悩みです。 <p>はじめしんどそうで開いていく人もいますがそのまま来なくなる人もいます</p>	教員
23	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトやサークルで身につけたコミュニケーション能力と授業で課題をこなす上でのコミュニケーションは別であるということについて(当たり前かもしれませんが)納得し、授業でいかにコミュニケーションを身につけさせるかを考える必要性を感じました。 ・普段、アクティブにする対策を色々と考えてはいますが、まだまだ不十分であることを実感しました。貴重なお話が多く、明日からの授業に生かしていこうと思います。 	教員
24	<p>とても良いお話を聞かせていただきました。職員ですが、図書館オリエンテーションを学生にむけて行ないますので、参考に、そして実践していきたいと思います。</p>	職員